

平成 26 年度決算総括質疑の概要

平成 27 年第 3 回二宮町議会定例会

日 時 平成 27 年 9 月 14 日 (月) 午前 9 時 30 分より

No.	質 問 議 員	質問の概要 (本人の提出原稿)
1	野地洋正 議員	<p>平成 26 年度決算報告書によると、一般会計歳入 78 億 8 千 6 百万、歳出 76 億 1 千 7 百万 (対前年 95.8%)、4 特別会計総額は歳入 73 億 2 千 9 百万、歳出 70 億 8 千 4 百万円で対前年度ほぼ同額。詳細については決算審査特別委員会により審議されることとなるが、二宮町は小さいながらも一般会計と特別会計を合わせた約 150 億と言う膨大な税金を活用し「人と暮らし、文化を育む自然が豊かな町」を目指している。</p> <p>平成 26 年度においては、村田町長が年度途中で町政を受け継いだこともあり、大きく事業を見直したり、自らの公約を推進することは困難であったと理解している。しかし 27 年度は村田町政としてスタートし、半年を迎え、そして次なる 28 年度予算編成にとりかかろうとしている現在である。</p> <p>27 年度は二宮町総合計画前期 3 ヶ年のまとめの年であり、28 年度から中期計画へ発展させる重要な年度である。計画の実現を図る方策の一つとして「P D C A : 計画、実行、評価、改善」ときちんと謳われており、まさに町民の負託を受けた村田町長が昨年度を評価し、改善する。その大切な年度である。</p> <p>26 年度の決算を迎えるにあたり、事業や施策の結果を検証しつつ、27 年度施策の更なる説明、そして 28 年度予算編成、中期基本計画、将来に向けてどう繋げていくか町長の考えを伺う。町民の関心度も高く、また総合計画中期基本計画への見直し部分でもある重点的方針から「スリムで効果的な行財政運営の確立」に関して 4 件と、「二宮の顔づくり」＝駅北口の整備についての計 5 件を質問する。</p> <p>なお、町長答弁にあたり一言つけ添える。町長の職務範囲は、赤ちゃんから高齢者までと大変幅広く、激務であるなか頑張っていることは承知しているが、最近、一部の町民の方から、町長は何をしたいのか、どう進めていくつもりなのか具体的に見えない。とする言葉を耳にすることがある。就任 1 年にも満たない中いたしかたないとも思うが、是非それらを一掃する答弁を願う。</p> <p>まず、戦略的行政運営から「スリムで効果的な行財政運営の確立」について 4 点</p> <p>①図書館運営について：毎年膨大な経費が掛けられており、町の財政規模からしても改革が必要である。と、26 年度、27 年度と 2 年連続して予算審査意見としても議会から公に求めており、総括、一般質問等でも度々問われている事項である。町長は図書館改革 3 ヶ年計画を凍結する。と議会無視とも思われるような発言をした。改革の必要性を感じていないのか、また別の改革案があるのか伺う。</p> <p>②公共施設の再配置に関し：中期、後期総合計画見直しにも大きく係わる大変重要な課題であり、効果的な行財政運営そのものと言っても過言ではないほど大きな事項である。町民の関心も大変高く、今定例会においても総務建設経済常任委員会から公共施設に関する提言書が出される予定と聞いている。平成 25 年 3 月に公表された「二宮町公共施設白書」にもとづき検討が進められていることと思うが、現段階で町長はどう思い、どう進めようとしているか伺う。</p> <p>③如何に税収を確保していくか：26 年度の一般会計歳入は 78 億 8 千 6 百万と 25 年度対 95.8%、3 億 4 千 4 百万の減であり、過去 5 年間でも最少額である。内町民税、固定資産税、軽自動車税、町たばこ税を合わせたいわゆる「町税」は 36 億 3 千 8 百万、構成比 46.1%と大きい。25 年度からは 2 千万の減額となっている。監査報告書では、町税の増は今後も見込めず予断を許さない状況は続くと思われている。総合計画を進めていくためには財源の確保は必須である。施策、事業を展開する上で財源をどのように確保していくか考えを伺う。</p> <p>④町長の退職金について：公約である「町の財政を 0 から見直す」のなかの一番初めに掲げている町長退職金の件であるが、昨年 12 月 4 日の所信表明の中で「任期中の町長退職金の廃止」については、神奈川県市町村退職金手当組合</p>

		<p>に制度の見直し等について働きかける、と答弁している。昨年 12 月の着任時から町は負担金として一般会計より支出し続けているが、それについて現状と今後の方向性を伺う。</p> <p>⑤「二宮の顔づくり」＝駅北口の整備について： 交通環境と防災対策の向上における重点方針に謳われているが、26 年度決算、駅周辺整備計画事業として 9,258 千円を歩道等整備費、25 年度に引き続き整備検証委託料を支出している。27 年度は点字ブロック整備事業の 1,580 千円だけである。北口整備についてはほぼ終了したと捉えるがその効果はいかがか。「二宮町の顔づくり」＝次は南口整備だ。と期待されている町民の方も多くいらっしゃる。南口整備として予算化されていないが、今後、特に駅前周辺、栄通りから中央通り商店街と駅南口の活性化対策についてはどのように考えているか伺う。</p> <p>以上 5 件、町長のより具体的な考えを答弁いただけるようお願いする。</p>
2	小笠原陶子議員	<p>26 年度決算が審議されるが、27 年度もすでに半年が過ぎようとしている。村田町長が誕生してから間もなく 1 年になる。そこで 28 年度予算を控えて町長の政策実現のための施策を問う。</p> <p>①二宮町では総合戦略会議で二宮を元気にするための議論がされている。坂本前町長は日帰り観光を打ち出し、またオリーブ生産に力を入れていた。町からの働きかけでオリーブに取り組み始めた人もいる。村田町長になってから、ぐっとトーンが落ちたように感じているが、町民から今後を心配する声が出ている。町は継続して事業を進めていくのか。また、観光協会の活動も行事の見直しなど検討されているが、町長の観光に対する考えを伺う。</p> <p>②二宮町は第 6 次高齢者保健福祉計画及び介護保険福祉計画において、施設介護より在宅での介護の方向性が打ち出されている。</p> <p>村田町長が町長選挙の時に作った政策チラシには「在宅医療でかなえる、終のすみかも二宮で」と謳って総合病院の医療機関とのネットワーク化とか IT 化に触れているが、医師会の中郡でひとつしかない。両町で医療福祉の連携をどうしていくのか、東海大学病院も含めての連携もあるのか。24 時間 365 日安心できる在宅医療システムについて伺う。また、在宅介護を支えるシステム整備をしていくうえでは、他の自治体との広域連携も必要だと思うが町の考えと進捗状況を問う。</p> <p>③住民参加には、正しくスピーディーな情報が必要である。そこで、二宮町の情報発信力の強化について伺う。</p> <p>役場では町民にお知らせする時、広報や掲示板で行うほかにインターネットのホームページで様々なお知らせをしている。この度、HP を大きく変えて定住促進につなげようとしているが、SNS サービスの有効活用が必須であり、町民ニーズも高いと思うが、町はどのように考え、実施していくのか。</p>

備考：2 番目の質問開始時刻は、直前の質問終了後となりますので、不確定です。